



運 営 協 議 会 だ よ り

第9号

代表 近藤 弘文 校長 加藤 雄一

第9回地域協働学校運営協議会が開催されましたので、議事の概要をご報告します。

- 日 時 令和3年3月10日 17:00～18:15
- 場 所 落合第六小学校 図書室
- 司 会 近藤 弘文

【校長挨拶】

今年度、最後の運営協議会となりました。今年度は、新型コロナウイルスにより大変な1年でしたが、子どもたちの成長した姿を、保護者や地域の方に公開することができず残念でした。落六 DASH についても、来年度も引き続き子どもたちが自主的・積極的に活動できるよう、教育活動に力を入れていきます。

【オープンスクールの様子について】

3月6日(土)に開催されたオープンスクールの様子を、お手伝いいただいた近藤さんの好意により、写真や動画で共有しました。子どもたちが、授業とは違う顔で楽しんでいる様子がよくわかりました。保護者や地域の方には、緊急事態宣言の延長により、直前で公開できないこととなり、子どもたちも残念がっていたようです。アイデアを出し合い協力し、子どもたちの自主的な活動が今後も継続できるよう、来年度に向けて、また地域の方にもご協力いただける状況になりましたら、その時はご協力よろしくお願いいたします。

【意見交換・次年度の計画について】

近藤さんより「次年度協働学校運営委員会議題」をご提案いただき、来年度の進め方について議論・意見交換をしました。

- ・40～50代くらいの方に入ってもらい、今後、次世代に引き継いでいく必要があるのではないか。
- ・子育てがひと段落し手が離れると、仕事をされている方が多く、ボランティア募集は難しい。
- ・町内会や目白大学など、地域の方に協力してもらおうのほうか。
- ・地域に住む外国の方に、お国の様子や食文化など話してもらおう機会を作ってはどうか。
- ・落六小のためにお手伝いしたい方は、きっとたくさんいると思う。なかなか接点がないだけではないか。
- ・今年はコロナにより異例尽くめで、積極的に広報活動をするのができなかった。
- ・学校公開で地域の方に様子を見ていただく方法が、一番の広報活動になるのではないか。
- ・町会や学校の掲示板を使い、広報活動するのも一つの方法ではないか。
- ・落六 DASH のマイスターには、保護者の方にご協力いただけたので良かった。
- ・ミシンを使う様子を見ても、昔と違い男女の差がなく、教育活動されている様子がよくわかった。
- ・この地域にあった方法で、今後も地道に活動を進めていくのが良いのではないか。
- ・来年度、少しでも地域協働学校としてお手伝いできることがあれば、協力していきたいと思う。
- ・学校としても、コロナが少しでも終息し、地域の方に少しでもお手伝いいただけるようになることを願っている。

【次回の予定】 来年度、5月頃に開催予定。

【出席者】

近藤 弘文、西澤 輝信、橋田 稔、原田 榮、亀井 治子、篠田 邦子、舘 次郎、
加藤 雄一、庖刀 由利子、久保田 功一(教育支援課)、水上 真理(書記兼務)